

まえがき

『デイリーコンサイス国語辞典』は、初版刊行以来、高機能・高密度の内容を小型の判型に収め、実用性を最大限に追求してきた。幸いにして多くの読者からご支持をいただき、小型携帯版横組み国語辞典という新しいスタイルとして定着し、2009年には第5版まで改訂を重ねた。

現代は人々の交流が一段と密になり、複雑多岐にわたっている。しかしながら、その基盤が言葉にあることは言うまでもなく、言葉によるコミュニケーションの担うべき役割はますます重みを増している。第5版を世に送り出してから早くも8年余り、我々を取り巻く社会状況は大きく変化した。大きな災害をいく度も経験した。スマートフォンをはじめとする情報機器はすっかり定着を見た。めまぐるしい社会の状況の変化が新しい言葉を生み出し、言葉の意味を変容させている。そして、大きくは2010年に現代の日本語を表記するための漢字使用の目安である「常用漢字表」が改められた。常用漢字が増え音訓も追加されて漢字使用の幅が広がった。これらの状況に対応し、第6版をここに刊行する。

第6版の改訂に当たっては、本辞典編集の原点となっている、使用者の立場に立って有用な情報をわかりやすく呈示し、真に使いやすい実用性にすぐれた辞書を目指すという基本的な立場を貫き、新語の収集と見直しを行なった。

新語を収集するに当たっては、多くの人が目にし耳にする情報源——新聞や週刊誌、雑誌類、テレビ、ウェブサイトなど——から現代生活の多方面の核となる言葉を採録することを心がけた。

解説を付すに当たっては、初版以来の、簡潔・明快・的確という方針を堅持した。

国語辞典の大きな役割のひとつである表記情報の面でも、表記欄に標準表記・参考表記を明示して、日本語の適切な表記を知りたいという読者の要求に対応するようにしている。第6版では、旧版にも増して標準表記にカタカナ表記が増えている。これも新しく採録した語に外来語が多く、その実態が反映したものである。

以上のような編集方針のもとに第6版の改訂に当たった。

佐竹秀雄先生（日本漢字能力検定協会 現代語研究室長・武庫川女子大学名誉教授）には、編集方針の検討、採録語彙の選定、

原稿の全般的な校閲など，中心となって進めていただいた．あわせて編集にご協力いただいた先生方のお名前をあげて深甚なる謝意を表す．（敬称略）

岡 優子

木川 行央

小林 澄子

佐竹久仁子

ここでいちいちのお名前をあげることはできないが，校正などの編集にかかわる地道な作業にご協力をいただいた多くの方々にお礼を申し上げる．組版・印刷・製本を担当していただいた方々にも謝意を表したい．

この『デイリーコンサイス国語辞典』第6版は，多くの読者の方々から寄せられたご意見・ご要望を糧として結晶したものである．版を重ねるたびごとに常に「最新」の携帯版国語辞典として読者の身近に置かれ，愛用していただけることを目指し，今後とも内容の充実をはかっていきたい．ひきつづいてのご指摘とご批判をお願いする次第である．

2018年1月

三省堂編修所